

(2) 予測及び評価の結果

1) 土地又は工作物の存在及び供用

① 地形改変及び施設の存在

(a) 環境保全措置

地形改変及び施設の存在に伴う景観への影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

- ・ 風車発電機の色彩については、周辺環境になじみやすいように、明度と彩度を抑えたグレーとする。
- ・ 施設設置に伴う樹木の伐採は可能な限り最小限にとどめ、工事後は可能な限り現地発生表土の撒きだしや現地確認種による植栽を行い、植生の早期回復に努める。
- ・ 対象事業実施区域内における送電線は、鉄塔は建設せず、主要な送電線は地下埋設及び電柱架設とする。

(b) 予測

ア) 予測地域

調査地域と同様とした。

イ) 予測地点

i) 主要な眺望点及び主要な眺望景観の状況

調査地点と同様とした。

ii) 景観資源の状況

自然景観資源として把握した地点とした。

ウ) 予測対象時期

風力発電機が定常状態で運転している時期とした。

エ) 予測方法

i) 主要な眺望点及び日常的な視点場、景観資源の状況

主要な眺望点及び日常的な視点場、景観資源の位置と対象事業実施区域を重ねることにより、影響の有無を予測した。

ii) 主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の状況

主要な眺望点及び日常的な視点場から撮影する現況の眺望景観の写真に、将来の風力発電施設の完成予想図を合成するフォトモンタージュ法により、眺望の変化の程度を視覚的表現によって予測した。

なお、本事業の風力発電機が視認できる予測地点において、他事業者（本事業者の関連事業者を含む。）の風力発電事業の風力発電機等が視認できる地点については、その影響を含めて累積的な予測を行った。

オ) 予測結果

i) 主要な眺望点及び日常的な視点場

主要な眺望点及び日常的な視点場については、改変されないことから、対象事業の実施による直接的な影響はないと予測した。

ii) 景観資源の状況

景観資源については、対象事業実施区域の一部が景観資源である「鱒ヶ沢段丘」に位置しており、対象事業の実施により一部改変されるが、表 10.1.7.1-24 で示したとおり、「鱒ヶ沢段丘」の改変面積は 0.017km²（総面積の 0.1%）と僅かであり、既存の道路を最大限に活用し、造成に伴う土地の改変は必要最低限にとどめること、樹木の伐採は可能な限り最小限にとどめ、工事後は可能な限り現地発生表土の撒きだしや現地確認種による植栽を行い、植生の早期回復に努めることから影響は可能な範囲内で低減されていると予測した。

表 10.1.7.1-24 主要な景観資源（鱒ヶ沢段丘）への影響の予測結果

区分	合計
鱒ヶ沢段丘の面積	18.69km ²
改変面積（鱒ヶ沢段丘に位置する部分）	0.017km ²
改変率	0.1%

iii) 主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の状況

主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の予測結果の概要は表 10.1.7.1-26 に、各地点の予測結果を表 10.1.7.1-27～45 に示す。なお、影響の程度の把握には、表 10.1.7.1-25 に示す知見を参考にした。

表 10.1.7.1-25 垂直視角と送電鉄塔の見え方（参考）

垂直見込角	鉄塔の場合
0.5 度	輪郭がやっとわかる。季節と時間(夏の午後)の条件は悪く、ガスのせいもある。
1 度	十分見えるけれど、景観的にはほとんど気にならない。ガスがかかって見えにくい。
1.5～2 度	シルエットになっている場合にはよく見え、場合によっては景観的に気になり出す。シルエットにならず、さらに環境融和と塗色がされている場合には、ほとんど気にならない。光線の加減によっては見えないこともある。
3 度	比較的細部までよく見えるようになり、気になる。圧迫感を受けない。
5～6 度	やや大きく見え、景観的にも大きな影響がある(構図を乱す)。架線もよく見えるようになる。圧迫感はあまり受けない(上限か)。
10～12 度	眼いっぱい大きくなり、圧迫感を受けるようになる。平坦なところでは垂直方向の景観要素としては際立った存在になり、周囲の景観とは調和しえない。
20 度	見上げるような仰角になり、圧迫感も強くなる。

(出典) 「景観対策ガイドライン(案)」(昭和 56 年 UHV 送電特別委員会環境部会立地分科会)

表 10.1.7.1-26(1) 主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の予測結果の概要

区分	調査地点	最大可視 風力発電機	左記までの最短距離 (km)	最大垂直視角 (度)	
主要な眺望点	VP.1	鱒ヶ沢海水浴場	13号	3.5	2.3
	VP.2	なぎさ・ブリッジ	15号	2.7	3.0
	VP.3	天童山公園	15号	2.3	3.5
	VP.4	大高山県緑地保全地域	(不可視)	—	—
	VP.5	青森スプリング・スキーリゾート	1号	7.7	1.1
	VP.6	光信公の館	3号	3.9	2.1
	VP.7	八景森	(不可視)	—	—
	VP.8	岩木山(8合目駐車場)	1号	9.3	0.9
日常的な視点場	LS.1	赤石公民館	17号	2.2	3.7
	LS.2	日照田集会所	(不可視)	—	—
	LS.3	館前集会所	5号	2.6	3.2
	LS.4	(旧)南金沢小学校	12号	3.3	2.5
	LS.5	深谷集会所	(不可視)	—	—
	LS.6	近接住居	(不可視)	—	—
	LS.7	小夜ヶ丘集会所	15号	1.5	5.3
	LS.8	中村公民館	(不可視)	—	—
	LS.9	浜横沢生活改善センター	10号	2.0	4.2
	LS.10	小ノ畑生活改善センター	2号	1.4	5.8
	LS.11	東北自然歩道 (旧大高山スキー場近傍)	(不可視)	—	—

表 10.1.7.1-27(1) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.1 鱒ヶ沢海水浴場)

区分：主要な眺望点

【現状】

※落葉期：平成 28 年 11 月 14 日撮影（秋季）を使用



【将来】



表 10.1.7.1-27(2) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.1 鱒ヶ沢海水浴場)

区分：主要な眺望点

【将来】（鱒ヶ沢第一、鱒ヶ沢第二、市民風車は他事業の風力発電機を示す、）



【主要な眺望景観の変化の状況】

鱒ヶ沢海水浴場からの眺望は、風力発電機が位置する南側の近景には鱒ヶ沢海水浴場、中景には海成段丘、遠景には岩木山が眺望され、西側の中景には既設のあおり市民風力発電所（市民風車）が視認される。
本事業の風力発電機については、海成段丘上に2基の一部ブレードが視認され、最も近接するものは13号機（約3.5km）、最大垂直見込角は2.3度である。この結果は表10.1.7.1-25より「環境融和塗色がされている場合には、ほとんど気にならない。」程度である。風車発電機の色彩については、周辺環境になじみやすいように、明度と彩度を抑えたグレーとすることから、視覚的な変化の程度は小さく、眺望景観への影響は少ないものと予測する。
なお、他事業については、鱒ヶ沢第二風力発電所が海成段丘上に追加して視認されるが、その見え方は現況の市民風車とともに海成段丘上に僅かに視認できる程度であり、他事業を加えた累積的な影響についても少ないものと予測する。

表 10.1.7.1-28(1) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.2 なぎさ・ブリッジ)

区分：主要な眺望点

【現状】

※落葉期：平成 28 年 11 月 14 日撮影（秋季）を使用



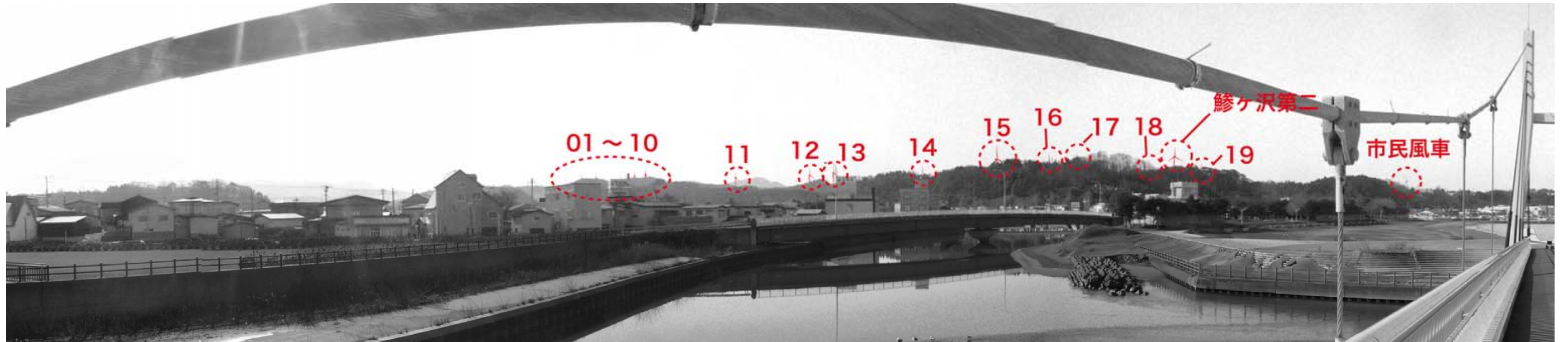
【将来】



表 10.1.7.1-28(2) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.2 なぎさ・ブリッジ)

区分：主要な眺望点

【将来】（鱒ヶ沢第一、鱒ヶ沢第二、市民風車は他事業の風力発電機を示す、）



【主要な眺望景観の変化の状況】

なぎさ・ブリッジからの眺望は、風力発電機が位置する南側の近景には鱒ヶ沢町中心部や中村川、中景には海成段丘、遠景には岩木山が眺望され、西側の中景には既設のあおり市民風力発電所（市民風車）が視認される。

本事業の風力発電機については、市街地の背景や海成段丘上に 19 基のタワーや一部ブレードが視認され、最も近接するものは 15 号機（約 2.7km）、最大垂直見込角は 3.0 度である。この結果は表 10.1.7.1-25 より「気になる。圧迫感を受けない。」程度である。風車発電機の色彩については、周辺環境になじみやすいように、明度と彩度を抑えたグレーとすることから、視覚的な変化の程度は小さく、眺望景観への影響は少ないものと予測する。

なお、他事業については、鱒ヶ沢第二風力発電所が市街地の背景や海成段丘上に追加して視認されるが、その見え方は 15 号機と同程度（距離：約 2.6km）であり、他事業を加えた累積的な影響についても少ないものと予測する。

表 10.1.7.1-29(1) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.3 天童山公園)

区分：主要な眺望点

【現状】

※落葉期：平成 29 年 4 月 27 日撮影（春季）を使用



【将来】



表 10.1.7.1-29(2) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.3 天童山公園)

区分：主要な眺望点

【将来】（鱒ヶ沢第一、鱒ヶ沢第二、市民風車は他事業の風力発電機を示す、）



【主要な眺望景観の変化の状況】

天童山公園からの眺望は、風力発電機が位置する南側の近景には海成段丘、中景、遠景には低山景観が広がり、南西側の中景には既設のあおり市民風力発電所（市民風車）が視認される。

本事業の風力発電機については、尾根上に8基のタワーや一部ブレードが視認され、最も近接するものは15号機（約2.3km）、最大垂直見込角は3.5度である。この結果は表10.1.7.1-25より「気になる。圧迫感を受けない。」程度である。風車発電機の色については、周辺環境になじみやすいように、明度と彩度を抑えたグレーとすることから、視覚的な変化の程度は小さく、眺望景観への影響は少ないものと予測する。

なお、他事業については、鱒ヶ沢第二風力発電所が尾根上に追加して視認されるが、その見え方は現況の市民風車や15号機と同程度（距離：約1.9km）であり、他事業を加えた累積的な影響についても少ないものと予測する。

表 10.1.7.1-30(1) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.4 大高山県緑地保全地域)

区分：主要な眺望点

【現状】

※落葉期：平成 29 年 4 月 27 日撮影（春季）を使用



【将来】



表 10.1.7.1-30(2) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.4 大高山県緑地保全地域)

区分：主要な眺望点

【将来】



【主要な眺望景観の変化の状況】

大高山県緑地保全地域からの眺望は、主要な眺望方向となる日本海側は全方向とも近景に樹林が広がり、中景、遠景は樹林により遮られ、ほとんど眺望できない。本事業の風力発電機についても、手前の木々に遮蔽され、視認されないことから、視覚的な変化はなく、眺望景観への影響はないものと予測する。

表 10.1.7.1-31(1) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.5 青森スプリング・スキーリゾート)

区分：主要な眺望点

【現状】

※落葉期：平成 29 年 2 月 27 日撮影（冬季）を使用



【将来】

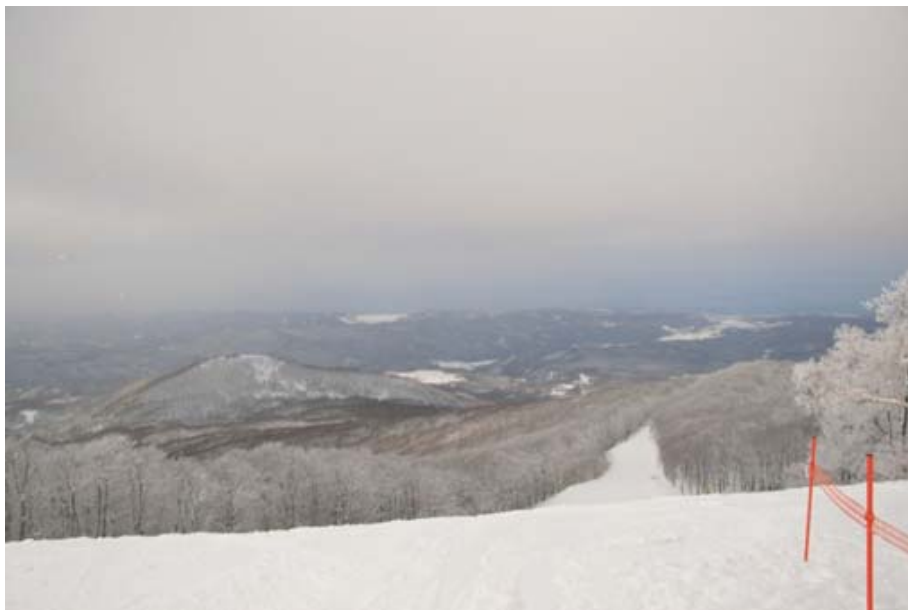


表 10.1.7.1-31(2) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.5 青森スプリング・スキーリゾート)

区分：主要な眺望点

【将来】（鱒ヶ沢第一、鱒ヶ沢第二、市民風車は他事業の風力発電機を示す、）



【主要な眺望景観の変化の状況】

青森スプリング・スキーリゾートからの眺望は、風力発電機が位置する西側の近景には樹林、中景から遠景には低山景観が広がり、遠景に僅かに日本海が眺望できる。

風力発電機については、他事業も含めて、全てのタワーやブレードが視認され、最も近接するものは1号機（約7.7km）、最大垂直見込角は1.1度である。この結果は表10.1.7.1-25より「景観的にはほとんど気にならない。」程度であることから視覚的な変化の程度は小さく、眺望景観への影響は少ないものと予測する。

表 10.1.7.1-32(1) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.6 光信公の館)

区分：主要な眺望点

【現状】

※落葉期：平成 29 年 4 月 27 日撮影（春季）を使用



【将来】



表 10.1.7.1-32(2) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.6 光信公の館)

区分：主要な眺望点

【将来】



【主要な眺望景観の変化の状況】

光信公の館からの眺望は、風力発電機が位置する東側の近景から中景には樹林が広がり、遠景には低山景観が眺望される。

本事業の風力発電機については、5基の一部ブレードが視認され、最も近接するものは3号機（約3.9km）、最大垂直見込角は2.1度である。この結果は表10.1.7.1-25より「環境融和塗色がされている場合には、ほとんど気にならない。」程度である。風車発電機の色彩については、周辺環境になじみやすいように、明度と彩度を抑えたグレーとすることから、視覚的な変化の程度は小さく、眺望景観への影響は少ないものと予測する。

表 10.1.7.1-33(1) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.7 八景森)

区分：主要な眺望点

【現状】

※落葉期：平成 28 年 11 月 10 日撮影（秋季）を使用



【将来】



表 10.1.7.1-33(2) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.7 八景森)

区分：主要な眺望点

【将来】



【主要な眺望景観の変化の状況】

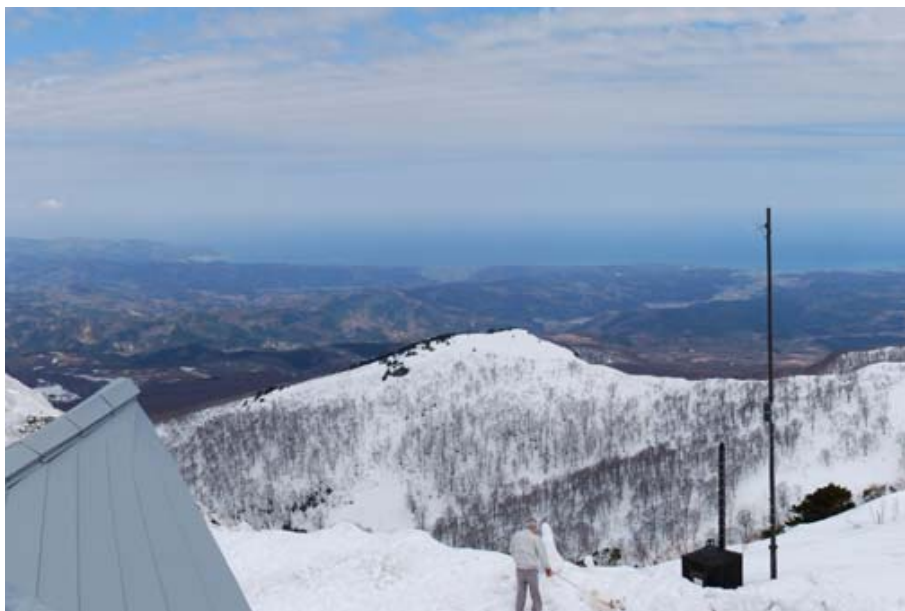
八景森からの眺望は、風力発電機が位置する北側の近景には樹林が広がり、中景、遠景は樹林により遮られ、ほとんど眺望できない。本事業の風力発電機についても、手前の尾根や木々に遮蔽され、視認されないことから、視覚的な変化はなく、眺望景観への影響はないものと予測する。

表 10.1.7.1-34(1) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.8 岩木山(8合目駐車場))

区分：主要な眺望点

【現状】

※落葉期：平成 29 年 4 月 26 日撮影（春季）を使用



【将来】

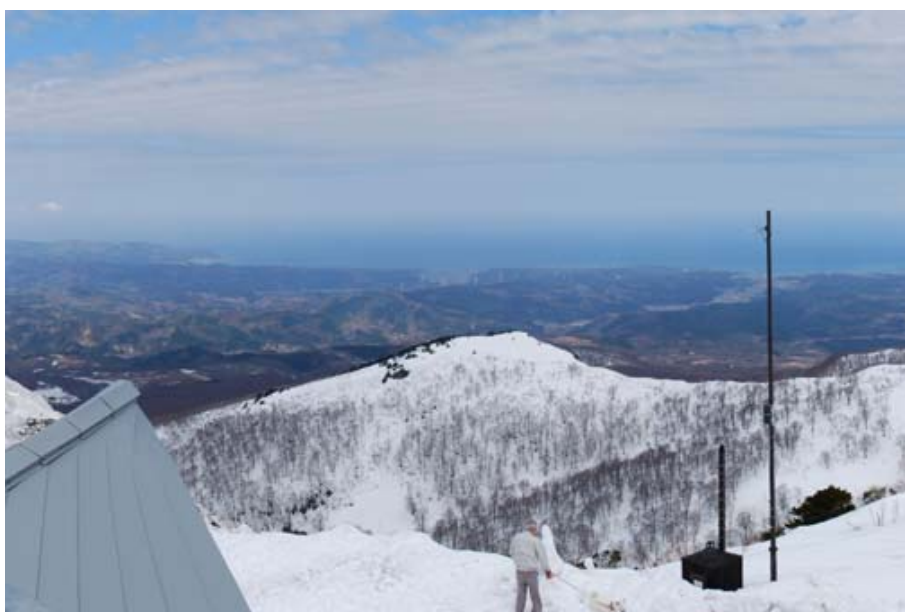


表 10.1.7.1-34(2) 主要な眺望景観の予測結果
(VP.8 岩木山(8合目駐車場))

区分：主要な眺望点

【将来】（鱒ヶ沢第一、鱒ヶ沢第二、市民風車は他事業の風力発電機を示す、）



【主要な眺望景観の変化の状況】

岩木山(8合目駐車場)からの眺望は、風力発電機が位置する西側の近景には樹林、中景から遠景には低山景観が広がり、遠景に僅かに日本海が眺望できる。

風力発電機については、他事業も含めて、全てのタワーやブレードが視認され、最も近接するものは1号機（約9.3km）、最大垂直見込角は0.9度である。この結果は表10.1.7.1-25より「景観的にはほとんど気にならない。」程度であることから視覚的な変化の程度は小さく、眺望景観への影響は少ないものと予測する。